今日から一年生（向粟崎小学校）

UCHINADA

町議会Eメールアドレス　gikai@town.uchinada.lg.jp
町ホームページ　http：//www.town.uchinada.lg.jp

町章

うちなだ 議会だより

Vol.93
2008.4.23

元気で魅力ある町の創造
－施政方針－　②

白熱の論戦を展開　－委員会レポート－　⑥

いっぱん質問　－11人が登壇－　⑧

ありゃーどうなったがいねー　AEDの設置　⑲

魅力は日本海と河北潟　街かどインタビュ～　⑳

内灘砂丘の風紋

持てる魅力ある内灘の創造に

予算を配分

平成20年第1回定例会は、3月4日から14日まで開催されました。町長提出議案は、19年度補正予算10件、20年度予算10件のほか、条例13件、大根布バイパス管整備工事の請負契約変更など37件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。また、追加提案された副町長、公平委員2名の選任に同意。

一般質問では11人の議員が登壇し、町政全般にわたり議論を展開しました。

八十出町長

施政方針

町政を担当して3年が経過し、今年は集大成の年と認識しています。

「町民参加」、「情報公開」、「現場主義」の3つの基本姿勢で町政の運営に当たってきましたが、平成20年度は、「町民が元気で誇りを持てる魅力ある内灘町の創造」を理念に、5つの重点施策に限られた財源を優先的に配分します。

健康で幸せに

●新たに中学1年生と高校3年生に相当する年齢の人を対象に、麻疹風疹の予防接種を実施します。

●PTAを対象に、食育の重要性の理解を高める調理実習や講義を行います。

●町民のための弁護士による無料法律相談を開設します。

●障害者によるチャレンジド喫茶のオープンを支援します。

●図書館や庁舎窓口に、障害者のための拡大読書機や音声変換パソコンを配置します。

子どもが輝く

●地域で育児を助け合うファミリーサポートセンター事業を開設します。

●金沢医科大学病院等と連携し、県内初となる5歳児健診を導入します。

●病後児一時保育を白帆台保育園で実施します。

●学童保育は、月単位に加え、1日単位の受け入れを実施します。

●西荒屋小学校の耐震補強実施設計、大根布小学校は、生徒増を見据えた教室不足に備え、増築工事の実施設計をします。

満開の桜の下で

町民が元気で誇りを

安心安全に

●消防署に、緊急地震速報受信装置を配備して、初動体制に対応します。

●地震の避難場所となる全小中学校に非常用発電機等の防災備品を配備します。

●救急救命士の養成、高規格救急自動車の購入等により、消防救急救命体制の万全を期します。

●集中豪雨対策として、大野川の洪水ハザードマップを作成し、周辺住民の危険周知や災害情報を提供します。

●大根布地区の浸水対策として、浸透・貯留施設整備、ハザードマップの作成等、総合的な雨水処理対策事業を行います。

玄関先まで押し寄せた平成18年8月の集中豪雨

賑わいの創出

●広く町民から愛されるコミュニティバスを目指し、検証、改善します。

●健診受診率の向上、地域商業活性化につなげるため、サンセットカードに、「健康応援券」のポイントを付けます。

●向粟崎地区の町なみ環境整備は、まちづくり交付金により事業の推進を図ります。

●北部地区の活性化策として、能登有料道路内灘インターのフルインター化を促進します。

自然と環境

環境チャレンジ 人づくり

教職員の環境教育研修、モデル校を指定しエコスクール化を目指すとともに、地球温暖化防止、環境ボランティアの養成等、町民運動の核となる人づくりに力を入れます。

環境チャレンジ 社会づくり

常設リサイクルステーションを設置し、資源の再利用・ごみ減量化の推進を図り、循環型社会システムの構築を図ります。

環境チャレンジ 自然づくり

河北潟の水質浄化活動の推進、内灘砂丘の再生などの町民活動へ支援を行います。

副町長の選任に同意

蓑　外史男　副町長
緑台　70歳

趣味　読書
座右の銘　一意専心
好きな言葉　青春
（心はいつも若く）

公平委員の選任に同意

寺岡　弘平さん（再任）
大学2丁目　71歳

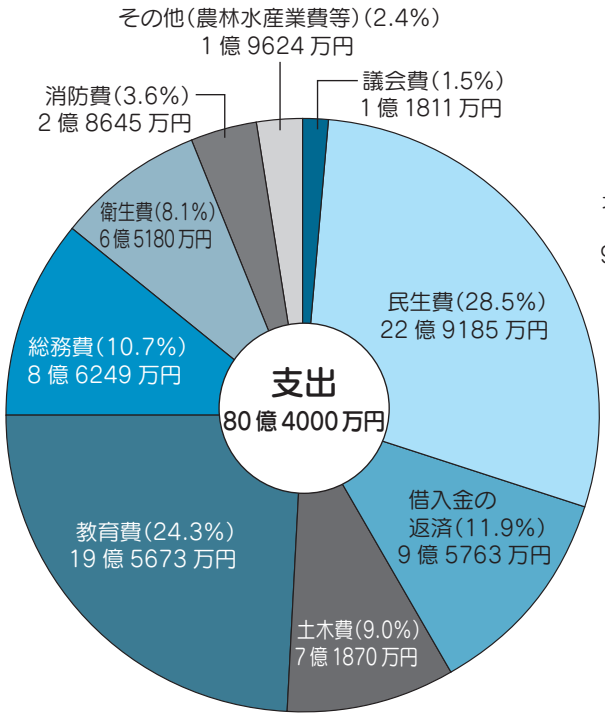
金丸　菊枝さん（新任）
白帆台　66歳

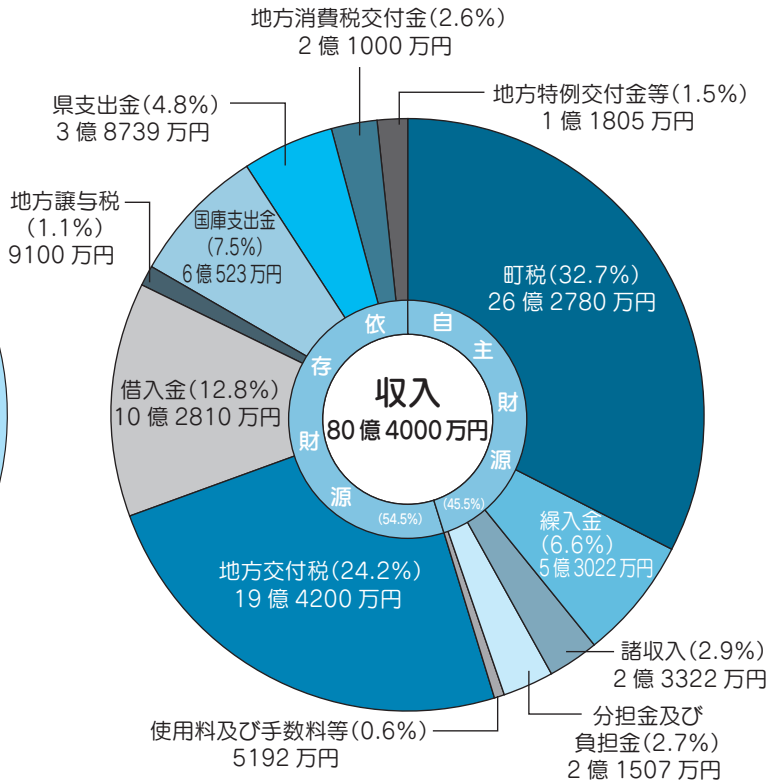
限りある財源
「選択」と「集中」で活かせ

子ども達の笑顔と未来のために

平成 20 年度 一般会計

80億 4000万円





審査した請願＆意見書

採択

「バイオマス推進基本法」（仮称）の制定を求める

木くずや木片を再利用したバイオマス製品（岡山県真庭市）

◎請願者

河北郡内灘町大学２－164
公明党内灘支部青年局
紲井　健一

◎紹介議員

川口　正己　　生田　勇人
恩道　正博　　南　　和彦

趣　旨

地球温暖化対策のためにも、石油産業社会に替わる「バイオマス産業社会」を展望し、食糧との競合問題への対応も含めて、国をあげてバイオマス（生物資源）の活用を推進すべき。（全員賛成）

採択

「非核日本宣言のよびかけ」に賛同し、政府に対し意見書の提出を求める

◎請願者

金沢市田上新町 31－1
非核の政府を求める石川の会
代表世話人　井上　英夫　（外１名）

◎紹介議員

北川　悦子

趣　旨

日本政府が、「核兵器廃絶の提唱・促進」と「非核三原則の厳守」を、改めて国連総会や日本の国会など内外で宣言し、非核日本宣言として各国政府に通知し、核兵器のない世界のための共同の努力を呼びかけることを求める。
（賛成13人、反対１人）

平成８年に建てられた「平和都市宣言像」

請願の趣旨に沿った意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係機関に提出しました。

不採択

政府に高齢者の医療費負担増と高齢者医療制度の中止、撤回を求める

◎請願者

河北郡内灘町鶴ケ丘３－24
全日本年金者組合
内灘支部長
片岡登志雄（外２名）

◎紹介議員　北川　悦子

趣旨

○後期高齢者医療制度は、中止、撤回すること。
○70歳から74歳の高齢者の窓口負担は従来どおりとすること。
○医療に伴う国の予算を増額し、高齢者をはじめ国民が安心して医療が受けられるように努めること。
（賛成１人、反対13人）

不採択の理由

後期高齢者医療制度は、法律に基づき４月より全国で一斉にスタートする。２年後に行われる見直しを含めて、様子をみるべきでないか。

委員会ならではの

委員会レポート

白熱の論戦を展開

総務常任委員会

バス運行の見直しを求める

運行の見直しが必要

Q コミュニティバスの利用を増やすため、住民の意見を聞いたうえで、ルート・時間・停車場所などの見直しを行うこと。

予定を早めて見直す

A バスの利用状況が安定した時期に、住民アンケートなどを実施、その内容をまとめて地域公共交通会議にはかり、ルートなどの見直しを実施したい。

見直しの時期は、1年後を予定していたが、予定を早めて実施したい。

類似の会議を統合せよ

Q 暴走族根絶運動推進会議と暴力団追放連絡会議の活動内容は、類似している部分が多くあるため、統合して一本化できないか。

実効性を高めたい

A どの団体も警察からの要請により組織されたが、津幡警察署と協議しながら、より実効性が高まる組織となるよう検討したい。

横断旗の材質を変更できないか

Q 横断旗が風で飛ばされ破損している状況をよく見かけるが、材質を丈夫なものに変更できないのか。また、横断旗を入れるケースは深さが不足しているのでないか。

提供された旗を使用

A 横断旗は安全協会等より提供されているものなので要請する。

ケースは、旗が飛ばない深さのケースを探したい。

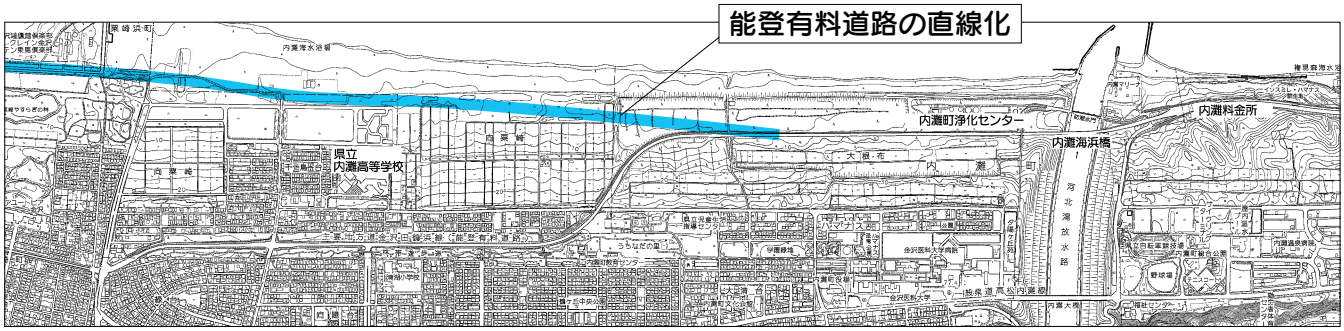
新１年生を対象とした交通安全教室

環境開発対策特別委員会

能登有料道路の直線化によるメリットは何か

能登有料道路の直線化が県の事業として、進められています。

現有料道路は、南北に長い千鳥台地区を鶴ヶ丘西、向陽台、緑台地区から分断する形で走っていますが、平成26年に予定されている全線無料化も視野に入れながら、町の整備方針を県と協議していく必要があります。



30人以下学級の成果は何か

文教福祉常任委員会

成果と課題を問う

Q 小学校低学年に導入された30人学級による成果と今後の課題は何か。

児童の落ち着き

A 少人数のため目が行き届き、クラス全体が早く落ち着いたと聞いている。

町で採用する教員の人材確保が難しいこと、県職の教員とのチームワークなどの課題がある。

おとなり同士で自己紹介
（鶴ヶ丘小学校１年３組22人）

普通徴収は何人か

Q 後期高齢者医療の保険料は、年金からの特別徴収（天引き）が原則だが、年金額が低いなどの理由で普通徴収となる人はどれくらいか。

300人前後を想定

A 65歳以上で介護保険料が普通徴収となっている人が約15％なので、75歳以上の15％を見込むと300人前後と想定している。

法律相談の受付は

Q 平成20年度からスタートする無料法律相談は、予約制とし、当日の受付は行わないのか。

電話予約で5件まで

A 役場で月に1度、午後1時30分から3時まで開催する予定で、弁護士1人が対応し、5件まで電話予約を受ける予定。予約が少なければ当日受付も可能と考える。

どのような活動をするのか

Q 新設する学校評議員会は、どんな組織で、どのような活動を行なうのか。

地域に密着した学校活動

A 学校評議員会は、地域に開かれ、地域に密着した学校活動を目指し、学校運営に関する支援や助言を行う。PTAも含め学校ごとに保護者や地区の代表、ボランティア、学識経験者を委員とし、1学期に1回の開催を予定している。

ライトアップの方針を示せ

産業建設常任委員会

改善方針を示せ

Q サンセットブリッジのライトアップが色あせている問題で、町の改善方針がまとまっているのなら、早急に県と協議すべきでないか。

カラーランプに変更

A オートカラーチェンジャーの不具合により当初の目的が果たせなくなっている。投光器の電球をカラーランプに取り替えるとともに、点灯時間も短縮する方向で県と協議を行っていく。

町の観光スポット「サンセットブリッジ」

雨水浸透マスの設置

Q 集中豪雨による家屋等の浸水被害を軽減するため、一般世帯の宅地内に雨水浸透マスを設置してはどうか。

調査検討していく

A 国からの補助制度や他自治体の取り組みなどを今後、調査研究していきたい。

機具橋を後世に

Q 町の歴史を感じさせる機具橋や浅電の景観をどのような形で将来に残していくのか。

金沢市と協議が必要

A 改修方法も含めて、隣接する金沢市と協議していく。

11人が登壇

北川　進 議員

新規職員を採用せよ

適切なる人員配置を

町長

北川　内部経費の節減のため、人件費の削減に努めているが、これでよいのか。

　優秀な新規職員の採用で、職員が切磋琢磨、競争心を持つことにより、活力あるまちづくりにつながるのではないか。

　責任ある仕事をこなしてもらうためにも正職員を採用することが一番でないか。

町長　厳しい財政状況のなか、内部経費の見直し、節減に努め、人事院勧告の1年先送り、退職職員の欠員分を補充しないことにした。

　一方で、政策的に、健康福祉部門や消防部門の充実強化を図る。

　職員1人当たりの仕事量がふえ、山積する課題に向けた適切な人員配置も必要であり、新規採用を検討したい。

北川　学校評議員会の設置は、学校単位なのか、学校全体での設置なのか。

教育長　学校教育法施行規則で、学校単位と規定されている。

北川　評議員会の運営に当たり、設置条例が必要と思うが。

教育長　地方教育行政の組織及び運営に関する法律では、教育委員会規則の制定権の範囲内。

【7頁に関連記事】

平成21年3月の完成に向け工事が進められている中学校舎

選挙公約の実現は

順調に事業、施策を実現

北川　今年は1期目の最終年度だが、選挙公約は、この3年間で、どれだけ実施できたのか。

　また、今年1年間でどれだけ実現される見込みなのか、あわせて尋ねる。

町長　財政規模に応じた行財政改革を進めながら、「町民参加」「情報公開」「現場主義」という3つの基本姿勢で町政運営に当たり、順調に約束した事業、施策が実現できた。

　歳入に応じた歳出規模を視点とした財政構造の改革が必要であり、今後も町民本位の町政に邁進する決意である。

水口　裕子 議員

いっぱん質問

全問掲載

中学校を２校化せよ

規模適正化を検討する　町長

水口　12学級以上18学級以下を標準とする学校教育法施行規則に従い、中学校を2校化し、教育環境をより良好なものにするために努力せよ。

　中学校の規模の適正化実現に向けて最善を尽くせ。

町長　教育推進会議の提言を真摯に受けとめる。

　学校施設の耐震化などの喫緊の課題に対処していく。

　中学校の規模適正化に向け、まちづくりの観点から検討を続けるとともに、財政面の環境整備に取り組んでいく。

パン食を米食に

水口　米飯３回、パン２回の基準を見直し、完全米飯給食を実施せよ。

教育長　米飯の推進を目指した試食会を実施するとともに、前向きに検討。

水口　ビニール水田の歴史、意義を教え、米を育てる体験学習をせよ。

教育長　主要科目の授業時数が増加するため、体験学習の確保が、非常に厳しい。

水口　講演会などは、全体の内容を生涯学習課で把握したらどうか。

教育長　生涯学習課を中心に全庁的な連携を図りたい。

年齢制限を見直せ

水口　社会福祉協議会の福祉車両の運転ボランティアが4月から70歳未満となった。

　現場で元気に活躍する多くの人がリタイアを余儀なくされ、移送サービスは手足をもがれた状態になっている。

　再度、運営協議会へ戻して検討させよ。

再度、検討する

町民福祉部長　福祉有償運送は、要介護者や身体障害者の低料金による移送サービスとして必要不可欠なサービスとなっている。

　元気でボランティア活動を続けていきたいとの意向を大事にし、基準の見直しは、関係市町と協議、連携して、運営協議会に提案していく。

水口　ボランティアが、庁舎内のエコ委員会に意見を出せる体制をつくれ。

総務課長　多くの知恵を借り、より効率的なエコ活動につなげたい。

水口　自販機設置条件について、どのような改革がされたのか。

総務課長　屋内外とも月額６千円の設置料を徴収。電気料は設置者の負担。

水口　自販機の台数も削減させよ。

総務課長　自動販売機の台数は、現在、部内で検討中。

上水道のあり方を問う

自己水の確保に務めたい　副町長

能村　憲治 議員

能村　鶴ケ丘浄水場の地下水を水道水として使うための予算が計上された。

町の地下水は、鉄やマンガンなど不純物が含まれ、アンモニア性窒素が基準値を上回った所もあった。

この地下水を浄化する施設に、町は1億円から2億円を想定している。

財政困難な今、多大な費用がかかると思われる浄化設備が必要なのか。

副町長　**「生物接触ろ過装置」**が、鶴ケ丘の400m深井戸に対応できないか、実証実験を行う。

その結果、ろ過処理がうまくできる確証が得られれば、費用対効果を検討し、議会と相談しながら自己水の確保に務めていきたい。

能村　水質に障害のある地下水を使うより、安全で水量の安定した県・市水を供給せよ。

副町長　金沢市との水道事業の広域化も今後研究していきたい。

能村　金沢市と連携し、広域的に給水の方法を考えるべき。

副町長　町民に安全・安心で安価な水道水を提供することが大前提と考える。

京都府京丹後市の生物接触ろ過施設

社会福祉協議会の今後は

能村　介護保険制度後、多くの社会福祉協議会がサービス事業に参入し、民間と競合しながら地域福祉に力を入れている。

今後、高齢者世帯が増加する中、これまでの福祉制度では対応し切れない難しい課題が出てくるのではないか。

社会福祉協議会の活性化が望まれるのでは。

能村　社協の自立に向けた活動が大切であり、今後の進むべき道は。

町長　高い専門性と保健、医療、教育など広範な分野での活動を推進させたい。

高齢者と保育園児の交流
－サロンひまわり（大根布公民館）－

財源確保を図らせたい

町長　経営面で自主性、自立性が求められている。

事業面では数多く展開しているが、社会福祉事業という性格上、大変厳しい財政状況にある。

今後、新規事業の開拓や既存事業の見直しを行いながら自主財源の確保を図っていかなければならない。

能村　社会福祉協議会が、数多くの事業を進めていくには大変手狭でないか。

町長　他市町の例を参考にしながら、今後調査、検討を進める。

用語解説

「生物接触ろ過」とは、人工の装置内に粒状活性炭等を入れ、バクテリアにより、地下水等を浄化させる方法です。

新型インフルエンザの対策を問う

行動計画に基づき、対策本部を設置　町長

川口　正己 議員

川口　既に強毒性で致死率の高いＨ５Ｎ１型という高病原性鳥インフルエンザにより、鳥から人への感染がアジアを中心に世界14カ国で報告されている。

国は３年前に「新型インフルエンザ対策行動計画」を取りまとめている。

各都道府県や各市町村でも対策が進められているが、我が町の対策は、どうなっているのか。

町長　新型インフルエンザ対策は、当町の家畜衛生部門、産業振興課を初め、関係部局と連携をとっていく。

発生初期の段階でできる限り封じ込めを行って感染の拡大を阻止し、健康被害を最小限にとどめたい。

当面、県の策定行動計画に基づき、対策本部を設置し、必要な対策を講じていく。

インフルエンザは予防が大切

AEDの早期設置を

川口　昨年の９月議会で小中学校へのＡＥＤの設置を要望した。

県内の公立小学校でのＡＥＤの設置率が、小学校ではわずか２・１％と遅れているため、県教育委員会では各市町教育委員会に早期の設置を求めている。

近隣他市町では、20年度中に公共施設への設置を決めている。

我が町も、積極的に設置できないのか。

できる限り早期に配備

教育長　今後、町の財政の状況等も勘案しながら、教育施設や体育施設など公共施設全体の優先順位を考慮したい。

その上で計画的に、かつできる限り早期に配備していく。

AEDを使用した救命講習会

【19頁に関連記事】

職員に意識改革を

意欲向上や自己啓発をはかる　町長

生田　勇人 議員

生田　町を会社に例え、町長が社長なら、我々町民は株主であり、会社の社員は役場職員である。

出前講座等要望、要請があれば行うのではなく、町としての方針を伝えたい時などに自発的に地区へ働きかけるべき。

「町職員とは」と言う精神的な意識改革をせよ。

町長　まちづくりに関する研修や行財政改革推進に関する部内ミーティング等を実施しながら、職員の意識改革に努めてきた。

今後は職員の意欲向上や自己啓発及び組織の活性化にポイントを置いて、活力と元気を引き出す工夫に努めていきたい。

タウンミーティングで町の財政状況を説明

生田　幹部職員の選考は、評価とあわせた実績、情熱を加味し、町民が納得する人選をせよ。

町長　まちづくりへの思いや意欲を重視し、町民の奉仕者として信頼されるように努めていく。

生田　町職員に、不足する消防団員、推進隊への参加と町会行事への参加を、もっと推奨せよ。

町長　安全確保の上で両組織とも必要不可欠。

職員に働きかけたい。

フルインターチェンジにせよ

生田　町が掲げる重点施策は、定住促進、企業誘致である。能登有料道路の全線無料化が平成26年1月と予定されている。

町の将来発展における拠点となるべき位置に能登有料道路内灘インターチェンジのフルインターチェンジ化の早急な取り組み、計画が必要ではないか。

利便性からも絶対に必要

町長　能登有料道路の直線化により、白帆台中央の権現森線に金沢方面の出入り口を設置するための基本構想を策定する。

北部地区のフルインターチェンジは、利便性、白帆台の定住促進等からも絶対必要だと考えている。

生田　商業施設計画は、土地利用についても期待が広がるが、どうか。

町長　白帆台地区の利便性が増し、定住促進につながると期待している。

フルインターチェンジが必要（能登有料道路）

危機管理体制の課題

企画立案からの住民参加を

藤井　良信 議員

総務部長

藤井　地域住民が一致協力して、共通認識を高める訓練が必要である。

　地域と行政、防災関係者が一体となった体制での相互連携と強調の大切さが改めて求められている。

　災害に強いまちづくりの観点から、金沢市との合同震災訓練の成果と今後の課題は。

総務部長　今回の訓練により、震災初動時における関係機関の相互連携、協調体制の確立が図られた。

　また、住民、地域、行政の自助、共助、公助の役割分担の確認、住民の防災意識の高揚が観られた。

　課題は、訓練の企画立案から住民の参加があればと反省の思いがある。

昨年行なわれた金沢市との合同震災訓練

藤井　防災および福祉関係部局における避難支援プランの検討は。

総務部長　避難支援プランの20年度中計画策定を進める。

藤井　災害時「要援護者」支援班の設置、情報伝達整備は充実しているか。

総務部長　要援護者の避難訓練を実施し、支援班の設置、情報伝達整備を検討。

準幹10号線の道路整備は

藤井　この計画は、コンフォモール内灘のオープンに向けて完成する予定となっていた。

　渋滞緩和対策、千鳥台5丁目の救急用道路として位置づけがされている。

　工事未着工の経緯と進捗状況、着工が困難な時の代案は検討するのか。

さびついた鉄製のガードレール

都市整備部長　平成20年度のまちづくり交付金事業で改修工事を実施する。

藤井　北陸鉄道浅野川沿線の鉄製ガードレール改修工事の進捗状況は。

用地交渉が難航している

都市整備部長　地権者の1名は、専業農家であり、農地の代替用地がなく、もう1名も交渉が複雑化して難航している。

　地権者と用地交渉が成立すれば、土地開発公社で対応する。

　道路位置を変更する案は検討しておらず、交渉を継続し粘り強く取り組む。

藤井　同浅野川沿線の木柵フェンスも同時に改修すべき。

都市整備部長　県に対して、同時に施工を要望している。

藤井　夕陽ケ丘苑増築工事の進捗状況と完成予定、施設の概要は。

町長　入札を3月18日予定、建築確認がおり次第着工、21年2月に開所予定でユニットケア型個室40床。

藤井　平和教育の方針、また、そのモデル都市とする実行計画の策定を。

教育長　提案された事柄は、大変意義深いもの、今後の検討課題とする。

藤井　文化会館自主事業費を平和教育推進のための研究費に活用せよ。

教育長　「平和」を重要なテーマとして、この事業に臨んでいきたい。

北川　悦子 議員

不安多い後期高齢者医療制度

楽観視できない

健康推進課長

北川　75歳以上の医療を別枠にすることで若い方の保険料も安くなるイメージがある。

　予算に後期高齢者支援金として国民健康保険費のなかに計上されている。

　医療費が増えれば支援金も連動して上がる。

　制度実施による影響は。

健康推進課長　支援金は、全国の後期高齢者医療被保険者の平均1人当たりの医療費に被保険者数を乗じた額となっている。

　老人保健拠出金として支払っていた額と比較すると1億5000万円程度の減額となり、現時点では有利に働く。

　医療費が伸びると大きな影響を及ぼし、楽観視はできない。

北川　65歳から74歳までの障がいのある方は、選択しない場合、今まで通り助成を受けられるか。

健康推進課長　後期は脱退して身障医療の助成を受けたほうが得。

コミュニティバスのコース変更

北川　乗降者数が一番多い「ほのぼの湯」へ行くために、南部ルートの乗り継ぎをなくしてほしいという声が多い。

　福祉センター行きバス廃止の代替でもあり、コース変更を早急にすべき。

新しいバスの車高が高く玄関のひさしに接触するため、設置された乗降口の手すりが利用できない状況に

すぐに変更できない

政策部長　今回の運行は実証実験であり、利用者の意見を聞きながら、改善を図っていきたい。

　ルートを変更する場合は、バス停や時刻表などの変更費用と手続き、警察、運輸局との協議や地域公共交通会議にはかるなど、費用と時間を要し、すぐには変更できない。

北川　65歳以上の方の「ほのぼの湯」乗車料は無料にすべきではないか。

政策部長　収入の確保、受益者負担の公平性、1乗車100円という低価な運賃になっている。

北川　「ほのぼの湯」のバス乗降口を、以前つけた手すりを利用できないか。

政策部長　入り口のひさしにバスが接触するため、現在使えない。改修方法を検討中。

北川　障がいのある児童を小学6年生まで、学童保育の拡充を求める。

町長　夏休み期間中、実施に向けて具体的に検討。

北川　中国製冷凍食品の農薬混入事件が相次いだ。保育、学校給食はどのような対処をしたのか。

学校教育課長　中国産の食品、野菜は、安全性が確認されるまで使用しない。

北川　町嘱託職員の賃金に変更があったのか。

総務課参事　給与面で年2回の賞与を廃止し、給料月額を引き上げた。

北川　遊歩道は、鶴ケ丘神社にトイレがあるが、もう1つ緑台方面に設置を。

都市整備部長　トイレの設置は考えていない。

安全でおいしい学校給食を

センターの運営に民間活力を

当面は現在の運営方法　町長

恩道　正博 議員

恩道　子育て支援センターが昨年4月に移転オープンし、子育ての中心的役割を果たしている。
　すべて行政が町民にサービスを提供する時代から、ボランティアを含めて町民が自ら進んで実行することが大切である。
　今後の子育て支援センターの運営は、ボランティアや民間活用も含めてどのように進めていくのか。

町長　子育ての中枢的役割を果たすものであり、地域の人への働きかけを積極的に行い、子育て支援者のネットワークを広げ、さらなる子育て支援の充実を図っていく。
　支援センターの目的とその役割を勘案すると、今はその基礎づくりの途中であり、運営は現在の方法で考えている。

子育て支援センター「カンガルーム」の親子の集い

恩道　育児に関するファミリー・サポート・センター事業の進捗状況と今後の取り組み方を問う。

町長　センター事業の内容の周知、啓発を行い、会員を募っていきたい。

恩道　高齢者の生活一般援助としてのファミリー・サポート・センターの設置を。

町長　高齢者のサポート・センター事業は、先進地の取り組みを研究、検討する。

恩道　文部科学省が進める放課後子どもプランに対する町の考えは。

教育長　国の制度を町の子供の居場所づくりに効果的に活用できないか研究していく。

放課後は、みんなで楽しく　－向粟崎学童保育クラブ－

予防接種率の向上を目指せ

はしか排除計画で取り組む

恩道　平成19年度の大流行は、現在の小中高校生や大学生が、予防接種を1回も受けなかった、あるいは1回は受けたものの免疫が出来なかったことで感染が拡大したもの。
　国が進める平成24年の麻疹（はしか）排除に向けて、町は予防対策に必要なワクチン接種率の向上にどのように取り組むのか。

町民福祉部長　法の改正で1歳児と小学校就学前の2回の接種となった。
　平成20年度から、はしか排除計画で、今後5年間で幼児期に1回しか受けていない世代に予防接種を行う。
　予防接種率向上に向けて広報「うちなだ」に掲載するとともに、再度、接種案内を通知して勧奨に努めている。

用語解説

ファミリー・サポート・センターは、地域で育児の援助を行いたい人と援助を受けたい人が会員となり、会員同士で子育てを支援する相互援助活動を行います。

夷藤　満 議員

土・日曜に窓口を開設せよ

人件費の問題がある

町長

夷藤　町民が役場を一番利用するのは町民課の窓口であり、必要とする住民票、印鑑登録証明書などが発行されている。

町民の6割以上が金沢や他の自治体に働きに出ていることから仕事を終えてからでは、窓口業務に間に合わない。

住民票、印鑑登録証明書発行の窓口業務を土・日曜日に開設する考えはないのか。

町長　昭和61年8月から毎週日曜日の午前9時から3時間、休日窓口サービスを開設したが、利用者が少ないのと土曜閉庁方式の導入から平成3年3月で閉設した。

土・日曜日の休日窓口サービスを検討しているが、職員の配置や人件費の問題がある。

住民票・印鑑証明等の発行窓口（役場1階町民生活課）

窓口時間を延長せよ

夷藤　土・日曜日の窓口業務の開設が無理なら、平日の窓口業務を午後7時まで延長せよ。

午後7時まで延長する

町長　早期にフレックスタイムを導入し、平日の窓口時間を午後7時まで延長、住民サービスの向上につなげたい。

夷藤　自動交付機を導入する考えがないか。

町長　自動交付機の設置は、今後調査研究していく。

金沢市役所に設置されている自動交付機

清水　文雄 議員

意識改革で協働のまちづくり

人材の育成に取り組む　町長

清水　町民参加のまちづくりを目指すまちとして、職員の研修方針、計画をどのように考えているのか。

町民の協働のまちづくりに向けた意識改革、さらには地域リーダー養成事業としての生涯学習事業と連携した研修やフォーラム等をどのように考えているのか。

町長　意識改革の高揚を図れる体制や、職員が研修に参加しやすい職場環境づくりに努め、人材の育成に取り組む。

職員を対象とした研修に、住民が参加できる研修がないかもあわせ、まちづくり、人づくりを目的とした講演会やフォーラムを開催して、幅広く参加できるよう検討していく。

原子力防災対策　県と協議していく

志賀原子力発電所

清水　町民の安全・安心を確保するため、震災対策と同時に、原子力防災対策も必要である。

町民に屋内退避や避難の指示や放射性物質の甲状腺への蓄積を防ぐため、ヨウ素剤配布、服用の指示、原発震災に関する情報提供等、現在の防災計画と防災訓練に取り入れる考えはないか。

総務部長　町独自に原子力防災計画を策定することは法律上規制される。

また、防災訓練も、計画同様、規制されている。

ただ、近年の原子力発電所における事故などにより住民の不安が高まっていることを考えて、町独自に法令に抵触しない範囲でどのような対応が可能なのか、県と協議していく。

清水　後期高齢者医療制度は、どのように周知を図るのか。

町民福祉部長　全戸にチラシ等の配布を実施していく。

清水　全戸に配布するチラシに、電話番号も入れるべきではないか。

町民福祉部長　問い合せ先の電話番号を記入する。

清水　保険料を払えない人の相談窓口が必要では。

町民福祉部長　相談窓口の開設は、実施に向け検討したい。

清水　無保険者を生み出す資格証明証の発行をやめるべきだ。

町民福祉部長　滞納者との接触を図り、保険料の納付相談、指導をしていく。

清水　現在、高額医療費は自動的に償還されるが、新制度でも継続するのか。

町民福祉部長　現在と変わらず、初回だけ申請、銀行の口座の届出が必要。

清水　上水道事業で自己地下水の安全・安心、安価の面で大丈夫なのか。

都市整備部長　休止中の井戸で生物接触ろ過装置の実証実験を行う予定。

清水　今後の具体的スケジュールを聞きたい。

都市整備部長　実験期間は、5カ月位を想定しており、自己水確保に努める。

清水　金沢市水を活用し、安全、安心、安価な供給体制を確立せよ。

都市整備部長　水質障害が解消するまでの暫定的な措置。

水道事業の広域化は今後研究していく。

中川　達 議員

地元代表がなぜ入っていないのか

条例に基づき設置　町長

中川　保育所民営化検討委員は、「公民館の代表、保育所の勤務経験者、民営化に関心があり、公募で選ばれた人」となっている。

　大根布の保育所に対しての歴史・経験がある人、大根布区の代表及び執行部の人がなぜ入っていないのか。

町長　民設民営で保育所建設を進めるには、住民の声は第一と受けとめる。

　地域の声を聞くため、9月に大根布区役員、11月に大根布保育所の保護者に民営化の説明会を開催した。

　町側から保育所設立に必要な敷地面積、これからの保育ニーズを説明し、住民の意見を聞いている。

大根布保育所の修了式

中川　大根布保育所に通所する地区別の人数は。

町長　大根布地区から67名、その他の地区から34名通っている。

中川　大根布での新築の請願が受理されたのに、なぜハマナスに移転なのか。

町長　適正規模で、必要な敷地面積を大根布地区で確保することが難しいことから、ハマナス地区での移設を打ち出した。

予防対策を問う

中川　行財政改革で、65歳から69歳を対象とした町からの1800万円の医療費助成が廃止される。

　その代わりに、病気の予防対策に取り組んでいくと聞いているが、どれだけの予算が予防対策、事業内容に含まれているのか。

マンパワーを生かす

町民福祉部長　現在、具体的な数字は言えないが、健康づくり対策として、ヤング検診やがん検診等の特定健診のほか、保健師の増員や新たに「健康応援券」の発行も考えている。

　その他、予算にあらわれないマンパワーを持って精進していきたい。

中川　厳しい財政というが、町有地の売却で運営をするのか、合併という議論も起こるのか。

町長　厳しい財政事情だが、お互いに力を合わせて内灘町を持続していく。

中川　子育て支援センターへの町内外の利用状況、他町での利用者は。

子育て所長　町内利用者は7000組、町外利用者は4000組。

　センター設立後、他市町への利用者はいない。

中川　厳しい財政状況の中、他町の利用者から料金を取れないのか。

子育て所長　支援する側は広域で町内外の区別なく支援していく。

中川　大根布バイパス管工事の手直しで、設計監理業者のペナルティは。

上下水道課長　設計業者には厳重注意し、試掘調査費、補強の設計費等、設計業者が負担する。

中川　子供たちが安心して食生活に携われる指導も町の一環ではないか。

町民福祉部長　町の食実態を把握、関係機関と協力して食育教室を図りたい。

中川　企業誘致の場所の選定、県・国当局に対しての誘致合戦が必要。

産業振興課長　進出企業に優遇措置として、助成金制度や奨励措置を盛り込む。

中川　企業誘致は、町民の情報や協力が必要ではないか。

産業振興課長　町民や町出身者の情報提供や人脈なども重要である。

追跡 ありゃ～ どうなったがいね～

一般質問のその後を検証

提　案

AEDの早期設置を求める

町の大切な宝である子供たちの命を守るため、小中学校にAEDの早急な設置を切望する。

【平成19年9月議会、川口正己　議員】

温水プールに配備されたAED

答　弁

今年度は温水プールに１台配備した。

来年度以降、小・中学校はもちろん、町の施設全体を考慮しながら、計画的に配備していきたい。

その後

今年１月、町民の方よりAEDの寄贈があり中学校に設置した後、別の町民の方から寄附された100万円に町費100万円を加え、平成20年度中に各小学校に１台ずつ（計５台）設置することになりました。

提　案

アカシア林を守れ

アカシアは、町を代表する木と言っても過言でなく、先人が防風と飛砂対策に植林したもの。

アカシアの保全と植林に、アダプト制度を活用するのも１つの方法でないか。

【平成19年9月議会、清水文雄　議員】

答　弁

平成18年に発足した「河北森林づくりの会」のようなボランティア団体等の協力を得ながら、森林の保全、育成に努めていきたい。

大清台とハマナス町会による苗木の植栽

その後

町民有志が５月に15本の苗木を林帯遊歩道に植栽する予定になっており、活動を通して白い花を咲かせるアカシア林の復活が期待されている。

発　行：内灘町議会　責任者：議長　渡辺　旺
編　集：議会広報対策特別委員会

〒920-0292 石川県河北郡内灘町大学1丁目2-1
☎076-286-6715 FAX076-286-6711

突撃！あなたの声 街かどインタビュー

内灘の魅力は日本海と河北潟

今回ご紹介する人は、田中和也さんです。

◆内灘に住んで何年になりますか。

◇金沢から引越しをしてきて、もう33年経ちました。

◆小・中学校時代は、どんな遊びをしましたか。

◇小学生の時は、河北潟や海で釣りをしたり、野球をしたりしていました。

◆当時と比べ、町は変わりましたか。

◇街並みは、ずいぶん変わったように思います。当時は、畑や防風林がたくさんありましたが、権現森周辺やハマナス、千鳥台などが、住宅地に変貌しています。

◆内灘の魅力や良いところは何ですか。

◇やはり大自然を感じさせる日本海です。また、旅行から自宅に帰る途中、遠くから金沢医科大学病院やサンセットブリッジが見えたら安心します。

◆町に望むことは何がありますか。

◇イベントなどでミス内灘を募集し、内灘の良さをPRしてほしいです。

◆議会を傍聴したことがありますか。

◇あります。まだ、傍聴したことがない方は是非行っていただきたいと思います。議会だよりも欠かさず読んでいます。

内灘は、日本海、河北潟、大野川に囲まれた砂丘の町です。「うちなだ議会だより」は、町をイメージする色の青を基調に編集されています。

日本有数の内灘砂丘が舞台
「世界の凧の祭典」

議会を傍聴しませんか！！

次の議会は**6月**に開催されます。

傍聴の受付は、３階のエレベーター横で行なっています。

本会議の録画映像は、町ホームページでご覧ください。

議会事務局　TEL 286−6715

よろしくお願いします　お疲れさまでした

前議会事務局の生田康久局長の退職により、向　貴代治税務課長が４月から議会事務局長となりました。

事務の引き継ぎ

編集後記

春は出会いと別れの季節です。桜の花が舞う４月に入ると、入社や入学など多くの人が希望に胸をふくらませ、新たな出発と出会いを迎えます。

３月定例議会は、国・県からの補助金や交付税が減少し、厳しい財政運営が求められるなか、白熱した議論が展開されました。

「議会だより」の編集に携わる者として、読者の皆さまの目線に立った読みやすい紙面づくりを心がけています。

今後も、さらなるご愛読をお願いします。

〔北川　進〕

広報対策特別委員会

議　長　渡辺　旺
委員長　川口　正己
副委員長　北川　悦子
委　員　北川　進
委　員　能村　憲治
委　員　恩道　正博

PRINTED WITH SOY INK 環境に優しい大豆油インキを使用しています
R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています
Printing Naturally